

授業コード	ナンバリング	開講時期	単位
3151	LB1L100	2024年度後期	2単位
科目名	経営学		
担当教員	吉村 司		
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための選択必須科目 ビジネス実務士資格選択科目		
学修内容	コロナ渦以降の日本企業は空前の危機的状況とチャンス到来の両方に直面しており、経営者、社員、パートナーが一体となって顧客に対応してリスクを回避し、ビジネスを伸ばすアイデアを継続的に創造する力が求められている。 なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果【ビジネス基礎】『基盤』に該当する。		
学修成果・到達目標	1. 日本企業で実践されているビジネス・キーワードを理解して説明出来る。 2. 経営学の基本体系を理解して説明出来る。 3. 自身が目指す「経営人材」が説明出来る。		
授業計画		事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間
第1回	オリエンテーション、「経営学」とは ※各回のテーマは適宜変更する場合がある	まずシラバスを熟読し、本授業での学修目標や 抱負および 自己紹介を2～3分で発表できるようにまとめ、テキストの第1章を読んでおく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第2回	経営組織論Ⅰ 経営管理の始まり (官僚制、PDCA、三種の神器)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第3回	経営組織論Ⅱ 意思決定 (組織均衡、組織学習、サイモンの意思決定)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第4回	経営組織論Ⅲ 組織デザインとマクロ組織論 (事業部制、マトリックス組織、コンティンジェンシー理論)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第5回	経営組織論Ⅳ モチベーション (人間関係論、期待理論、内発的動機づけ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第6回	経営組織論Ⅴ リーダー (リーダーシップ論、管理者行動論、サーバント・リーダーシップ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)

第7回	経営戦略論Ⅰ 経営戦略と全社戦略 (多角化、シナジー効果、事業ドメイン)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第8回	経営戦略論Ⅱ 競争戦略 (コストリーダーシップ、差別化、集中)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第9回	経営戦略論Ⅲ 事業戦略(ファイブ・フォース・モデル、資源ベース理論)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第10回	経営戦略論Ⅳ アウトソーシング (系列取引、製品アーキテクチャー)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第11回	経営戦略論Ⅴ カスタマーと国際経営 (パレートの法則、海外直接投資、グローバル経営)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第12回	技術経営論Ⅰ 生産管理 (見込生産と受注生産、ジャスト・イン・タイム、損益分岐点)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第13回	技術経営論Ⅱ 品質経営と製品開発 (フォード・システム、ベンチマーキング、デファクト・スタンダード)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第14回	技術経営論Ⅲ イノベーション (イノベーターのジレンマ、ゲートキーパー、オープン・イノベーション)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
第15回	まとめとふりかえり	これまでの授業テーマで一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に復習・準備しておく(1.5時間)	授業の総まとめを行い、授業でふりかえたポイントをもとに定期試験に備えること(2.5時間)

定期試験内容・方法について		筆記試験		
教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる	高橋 信夫	KADOKAWA	4046017651	文庫本でも結構です
参考書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
日本のイノベーションのジレンマ：破壊的イノベーターになるための7つのステップ（第2版）	玉田 俊平太	翔泳社	4798166383	
成績評価方法・基準				
評価方法	評価割合		評価基準	
1) 平常点	40%		①受講姿勢②1分間スピーチ③「QR」「IDR」課題等の完成度と提出率	
2) 積極性	20%		①授業内発表②傾聴力③グループ・ディスカッション貢献度	
3) 定期試験	40%		※全項目いずれかの成績が50%未満の場合、合計成績に関わらず不合格となる場合がある	
備 考	全授業にてグループ・ディスカッション（GD）や演習を行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価する。一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。			
フィードバック	1) 「QR（QuickReport:クイック・レポート）」授業当日中に送信（20時迄到着分は早着加点）。到着確認とコメントを原則授業日後3営業日以内に返信。不達時は必ずメール確認のこと、未確認は未提出となる。 2) 「IDR（In-Depth Report:詳細レポート）」次週の授業開始迄に送信。到着確認とコメントを原則締切後5営業日以内に返信。他は1)に同じ。			
実務経験のある教員による授業科目	実務家教員である			
授業内容（実務家教員）	企業で企画営業、IT、総務人事部門で実務・マネジメント経験ある教員が、経営学の基礎理論を踏まえた上で、経営学用語とビジネス実務に合致するキーワードを抽出し、ケーススタディを交えながら講義、演習する。			